

事例紹介

分類：技能研修施設（工場）

設置建物：滋賀県 草津市

テクノカレッジ草津（高等技術専門校）

テクノカレッジ草津は昭和58年に「滋賀県立草津高等職業訓練校」として開校され、その後、平成21年に「滋賀県立高等技術専門校・草津校舎」（愛称：テクノカレッジ草津）となりました。滋賀県南部の草津市に位置し自動車整備科、コンピューター制御科のほか求職者向けの職業訓練、中小企業向けの人材支援などを運営しています。

目的

滋賀県はマザーレイク琵琶湖を擁し、全国でも有数の環境意識の高い県です。そうした環境から「太陽光照明システム・スカイライトチューブ」が生まれたのは偶然とは言えません。ただ、これまで民間施設には導入が進んでいましたが残念ながら公共施設への導入までには至っていませんでした。そうした中、「太陽光照明システム・スカイライトチューブ」を取扱う（株）井之商が、平成24年5月に関西広域連合の新商品調達認定制度の調達事業者を選定されたのを機に県の施設への導入が検討され、テクノカレッジ草津に設置が決定しました。産学官が一体となって、環境に取り組む滋賀県の姿勢が、他の都道府県の手本となることを目指しています。

■関西広域連合製品紹介ページ

<http://www.kouiki-kansai.jp/contents.php?id=1464>

使用製品

750DS オープンタイプ

プリズマティック 散光カバー 8台

ソリューション

出来る限り延長されたチューブと散光カバーで、天窗と比べて、単なる明り取りにない光を作業する手許まで届けます。また、ただでさえ、熱の発生しやすい技能研修場所でも、太陽光照明システムは熱の持込を抑えます。加えて750DSの特性として、内部にレーザーカットを施されたドームが低い位置の太陽光を効率よくとらえ、真昼の真上からの太陽の光のギラツキもほどよくミックスし作業効率の向上をサポートします。

評価

- 照明としての役割に加え、熱も持込を抑えるという点からも、節電に寄与しております。
- 手許が明るくなり、これまで以上に作業効率がUPしました。



テクノカレッジ草津前景



屋根に設置された8台の採光ドーム



既存のトップライトと「太陽光照明システム」の併用